

中国の美容と日本のエステ業界、急加速成長 中国を皮切りにアジア圏へ普及していく日本のエステ

経済突風が 吹き荒れている中国

近藤 今日はお時間をとっていただき、ありがとうございます。

茂藤 こちらこそ、金沢までお越しいただきまして、ありがとうございます。

近藤 今日、茂藤社長とお話したかったのは中国進出についてなんです。

茂藤 はい。昨年は中国からかなりの数のお客様が日本の北陸にお越しただきました。今から10年ほど前に中国の上海にエステ店を展開していました。中国に在住している富裕層の日本人の女性のご来店していただけるお店という事で展開していたんです。当時は中国人相手のエステは考えられなかったですよ。ところが、ここ5年くらいで中国という国も中国人も大きく変化したと思っています。

近藤 僕も茂藤社長が進出したあとに中国に行くようになったんですが、本当にここ5年でびっくりするほど変わりました。

茂藤 当時の中国人女性にはファンデーションもしないし、むだ毛の処理もまっ

すから素晴らしい。

茂藤 昨年から本格的にエステ経営のコンサル事業を日本でも海外向けにもスタートしました。中国からのお客様へ提示している講習料金は多分、他社様に比べて高いと思います。受講しにくる中国の方はエステティシャンやエステ経営者ではなく、富裕層の投資家の方ばかりです。技術を学べる会社は他にもたくさんあるなかで当社が最初に受講生に伝えていることは5年後、10年後に中国国内で顧客満足度でトップを取ってくださいね、ということなんです。もちろん技術やおもてなしは教えますが、日本でリアル店舗をどのように経営してきたかを教えるんです。ベレーザさんにも掲載してもらっている店長会議や新人研修で伝えていること、さらには実際の店舗でどのように接客しているのかまでを教えています。そのなかでも一番大事にしているのが理念経営です。当社の理念を書いたパネルをすべての受講生にプレゼントしています。そうすると理念、つまり想いが繋がる。そして良いビジネスが展開できるんです。受講生のほとんどが富裕層で、アメリカやイギリスなどの大学に留学しているような人たちなのでレベルが高い。理念経営とは？顧客満足とは？ということをおスムーズに理解していただけます。

近藤 僕の経験からいうと、手取り早く売上ることが中国のビジネスで求められてきたんですが、茂藤社長のビジネスは、まったく違う方針なん



たくしてなかったですからね。脱毛以前の問題で剃ることすらしてませんでしたよ。美意識のレベルが低かったですね。それがあつという間に経済的に豊かになって美容に関心が向いてきた。中国と日本を比較したときに人口が10倍だからという話がありますが、美容に関しての需要はゼロからのスタートなんで、さらにバイアスががかかっている感じです。うなぎ昇りに上がる需要。それに莫大な人口が掛け算で加わる。それはもの凄い勢いなんです。投資家も不動産への投資はそろそろ天井が見えてきて、次は美容だということ動いているみたいです。近藤社長の言葉を借りると中国は風が吹いているどころ

ですね。

茂藤 そうなんです。私が一番最初に中国の受講生に伝えるのが「日本の良い技術を学んで、良い商品仕入れて、本土でお店出して集客できるんですか？もし同じ技術、同じ商品を販売するお店が近くにできたら何で勝負するんですか？」ということなんです。先日、私が講習した北京のエステへ訪問したんですが、完璧な礼儀作法でクール流のおもてなしが100点満点でした。多分、中国ではあそこまでのスタッフのいるサロンはないと思います。

日本のエステは アジアトップレベル

近藤 なるほど、顧客満足という点では日本でも同じことが言えますよね。今の中国のエステ店は20年前の日本のエステと似ています。日本が20年かけて成長してきたこと、中国は真似するだけで良いので3〜4年で成し遂げてしまおうと僕は思っているんです。中国はアジアでもトップレベルの日本のエステを学びたいと思っています。僕たちメーカーも日本のエステの素晴らしさをアジアへひろめていくことが必要だとおもっています。

茂藤 私もそう思っています。クールの良さを全部知ってほしいので、研修用のリアル店舗を作りました。場所は富山県で85坪の大きさがあります。そこでお客様の対応から全部リアルで学

じゃなくて突風が吹いているという感じですね。

技術、商品だけでなく 顧客満足を教える

近藤 僕は中国の展示会に行きだして10年になりますが、ここ数年で中国の女性がいきれいになってきました。そんなことで昨年から本格的に仕掛けていこうと思ったんですよ。僕たちは美容機器メーカーなので商品を提供すると必ず言われるのが日本のおもてなしの教育と技術のことなんです。茂藤社長は教育のノウハウをお持ちで



んでもらうんです。オーナーの方々なので店舗の様子を全部、写真に撮って帰られます。

近藤 あと中国で活躍している社長はみんな若いんですよ。30代で僕がやっているようなビジネスをやっている。

茂藤 そうですね。日本の高度経済成長時代の頃と同じなんですよ。あの頃の日本は若い世代が活躍していました。

近藤 今日は良い話ができて良かったです。これからも茂藤社長と組んで日本のエステの素晴らしさを、中国を筆頭にアジア全域にひろめていきたいですね。

茂藤 もちろんです。中国、タイ、ベトナムなどアジアで日本のエステの企業として一緒に頑張りたいですよ！



右 / 茂藤雅彦グループ代表
左 / 近藤英樹代表取締役

